

新年あけましておめでとうございます。

令和2年の初春を迎え、心穏やかにお過ごしのこととご推察申し上げます。

新しい年が皆様方お一人おひとりに幸多からんことを心よりお祈り申し上げます。

昨年一年を振り返ってみますと、日常茶飯事のように乳幼児の虐待報道や大津の交通事故等幼い子どもにまつわる悲惨な事件や事故が多発した年でもありました。

新しい年こそ痛ましく悲惨ないじめや虐待のない社会を目指して国・市・企業を始めとして地域社会が一体となって取り組むことが望まれます。

さて、昨年4月より本園は保育園からこども園へ移行し、手探りの中で園生活に取り組み、様々な課題と向き合ってきましたが、これからも従来の園の善さ（良さ）を大切にしながら、時代に即した新しい教育・保育にも取り組んでいかなければと考えています。

又、昨年10月から国の制度の下、教育・保育の無償化が始まりましたこの制度は、保護者の経済的負担を軽くし、子どもを預けて仕事をし易くするための施策として、一定の評価を認めますが幼い子ども（0，1，2歳児）は無償化の対象にならなかったことは甚だ不十分な制度と言わざるを得ません。子どもは国の宝と言われても久しいですが、少子化社会が急速する今日、国の政治・経済・福祉・教育等あらゆる面で施策の中心となるのが子どもではないでしょうか！子どもを大切にする社会は必ずや豊かな国づくりに繋がって行くのではないかと考えます。是非とも一日も早く実現して欲しいものです。

さて昨年暮れから風邪やインフルエンザが流行しつつあります。子どもたちの体調に留意しながら保育を進めていかなければと思っています。

今年も何かとご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解・ご協力の程お願いいたします。

